

第6回

日本骨格筋電気刺激研究会
学術集会

2019年

11月2日(土)

13:00 ~ 17:35

会長：三上 容司 独立行政法人労働者健康安全機構
横浜労災病院 副院長

会場：ベルサール東京日本橋

〒103-6005 東京都中央区日本橋 2-7-1

東京日本橋タワー 5F TEL: 03-3510-9236

- ◇東京駅からお越しの場合 (JR 線・丸ノ内線) …… 八重洲北口 徒歩 6 分
- ◇日本橋駅からお越しの場合 (銀座線・東西線・浅草線) …… B6 出口直結
- ◇三越前駅からお越しの場合 (銀座線・半蔵門線) …… B6 出口 徒歩 3 分

テーマ：「B-SES が拓く未来」

会長挨拶

第6回日本骨格筋電気刺激研究会 学術集会を2019年11月2日(土)に開催いたします。本年のメインテーマは「B-SES が拓く未来」といたしました。

超高齢社会の到来により、入院患者の多くは高齢者で占められています。運動器外傷・疾患だけでなく、他の疾患・外傷で入院する患者のADL、QOLの低下も大きな問題です。また、現在の医療制度では、ADL、QOL回復のための長期入院は難しく、退院後の通院での対応が求められます。入院・外来を通じて、医療経済的な観点からのみならず、何より患者自身、あるいは、家族のためにも、できるだけ早くADL、QOLを回復することが望ましいわけです。

B-SESは、そもそも、筋肉を電気刺激することにより筋量を増大させる、あるいは、筋力を増強することにより、患者のADL、QOLを改善することを目的として開発されました。しかし、今までの学術集会での発表、議論を通して、運動器疾患に対する効果のみならず、循環器疾患、代謝疾患、透析患者、ICU患者など、多方面にわたるB-SESの効果が確認されてきました。B-SESを活用することは、種々の疾患・外傷を抱える患者のADL、QOLの向上に役立つことが示されてきました。今後は、さらに、その応用分野が広がることが期待されます。

また、疾病・外傷の治療も大事ですが、現在の医療の大きな流れは予防医学にあります。もし、B-SESに転倒予防効果が認められ、大腿骨頸部骨折患者が減るのなら、もし、若い女性がB-SESを使うと骨粗鬆症を予防できるのなら、B-SESが一家に一台の時代が来るかもしれません。

会員の皆様、ならびに新規会員の皆様の積極的なご参加と、医師、コメディカル、研究者を問わず、各々の立場からの活発なご討議により、本学術集会が有意義な議論の場となることを期待しています。また、多くの皆様と「B-SES が拓く未来」を語りあえることを心より楽しみにしております。

第6回 日本骨格筋電気刺激研究会 学術集会
会長 三上 容司

本研究会は「Belt electrode - Skeletal muscle Electrical Stimulation : B-SES ビーセス
ベルト電極式骨格筋電気刺激法」が、生体に及ぼす影響を研究しています。

第6回 日本骨格筋電気刺激研究会 学術集会 2019年11月2日

特別講演 I

演者：米本 孝二 先生 琉球大学医学部 保健学科基礎看護学講座生物統計学分野 教授
 先端医学研究センター生物統計分野 分野長

『客観的に測定される身体活動量の整形外科治療効果判定
 指標としての可能性と B-SES 治療効果研究デザインの検討』

『臨床現場と評価の立場から』 田辺 秀樹 先生
 医療法人社団整秀会 田辺整形外科医院 理事長

特別講演 II

演者：三浦 美佐 先生 筑波技術大学 保健科学部 保健学科 理学療法学専攻 准教授

『透析領域での低周波電気刺激の実際
 ～内部障害患者に対する科学的な理学療法アプローチについて～』

日本骨格筋電気刺激研究会 プロジェクト研究からの報告

「ベルト式骨格筋電気刺激法の刺激強度と筋反応の定量評価に関する研究」
 緒方 徹 (国立障害者リハビリテーションセンター病院 障害者健康増進・運動医科学支援センター)

一般講演・第Iセッション

I-①	「B-SES が骨格筋の柔軟性に及ぼす影響：刺激モードの違いによる効果の比較」 富田 浩輝 (秋田リハビリテーション学院 理学療法学科)
I-②	「急性大動脈解離後に対麻痺を呈し、脊髄ドレナージ中から B-SES を使用した症例」 岩崎 大輔 (済生会熊本病院 リハビリテーション部)
I-③	「腰痛患者に対する B-SES 実施肢位の違いによる改善効果」 福永 真一 (のかおい整形外科 リハビリテーション科)
I-④	「有痛性強直性痙攣を合併した視神経脊髄炎患者に対する B-SES 併用での理学療法の経験」 山中 徹也 (埼玉医科大学大学院 リハビリテーション科)
I-⑤	「運動療法が困難な症例に対するベルト電極式骨格筋電気刺激法の効果について」 兼長 貴祐 (医療法人社団仁友会尾道クリニック 運動療法チーム)
I-⑥	「ベルト型電気刺激装置によるラット下腿骨格筋群強縮は前面および後面骨格筋内タンパク質合成 および mTORC1 シグナルを亢進し、筋肥大を誘発する」 鴻崎 香里奈 (日本体育大学 体育研究所)
I-⑦	「不動化したラットヒラメ筋における線維化と筋線維萎縮に対する B-SES の効果 - 日内介入頻度の影響 -」 本田 祐一郎 (長崎大学病院 リハビリテーション部)

一般講演・第IIセッション

II-①	「急性心不全患者に対する骨格筋電気刺激療法を利用した早期介入の有効性について ～ランダム化群間比較試験～」 岩 祐生輝 (兵庫医療大学大学院 医療科学研究科)
II-②	「ベルト電極式骨格筋電気刺激が急性増悪期の慢性心不全患者の循環動態に及ぼす影響」 飯島 祥太 (独立行政法人労働者健康安全機構 横浜労災病院 中央リハビリテーション部)
II-③	「B-SES を用いた急性期くも膜下出血の廃用性変化の予防の試み」 榎枝 綾乃 (山口県立総合医療センター)
II-④	「骨格筋電気刺激は施行直後の運動効率を向上させる」 加賀屋 勇気 (秋田県立循環器・脳脊髄センター機能訓練部)
II-⑤	「外来でのベルト電極式骨格筋電気刺激法を併用した呼吸リハビリテーションにより筋力、身体活動性の向上がみられた 慢性閉塞性肺疾患患者の一例」 鈴木 翔太 (医療法人一羊会 上武呼吸器科内科病院 リハビリテーション課)
II-⑥	「ICU での骨格筋電気刺激の質的評価 ～量は質を生むのか?～」 奈良場 啓 (日立総合病院 救急集中治療科)
II-⑦	「ICU で骨格筋電気刺激を早期から使用すべき患者についての検討 - 鎮静期間の予測因子から -」 森本 陽介 (長崎大学病院 リハビリテーション部)

参加申込み方法

*会員登録がお済みでない方は当会ホームページよりお申込みください。
 (入会申込み URL: <http://b-ses.info/register/index.html>)
 会員の方は事務局からのメールにて参加のお申込みをお願い致します。

